

2026.8月

銀の汗 Again

A面

ラミちゃんと2026秋冬物ユニフォーム展示会



パートル社の新商品



アイトス社のアンバサダー中央は元横浜ベイスターズのラミレス監督



人気のTSデザイン社



アタックベース社の新作説明

7月1日～3日で、各社2026秋冬物ユニフォーム展示会があり、今年の新作を観てきました。
秋葉原UDXの会場正面には見たことのある？人がそれはアイトス社のアンバサダー、ラミちゃんでした。以外と背はそんなに高くはありませんが厚みはあります思わずラミちゃん〜と声を掛け3人でゲッツポーズラミちゃん愛嬌たっぷり「愛嬌は商売の基本」ですね！
(2人はゲッツポーズで申し訳ありませんでした：編集長)



環境対応のアイトス社

埼玉県聖望学園



木陰で涼しくUN車設置

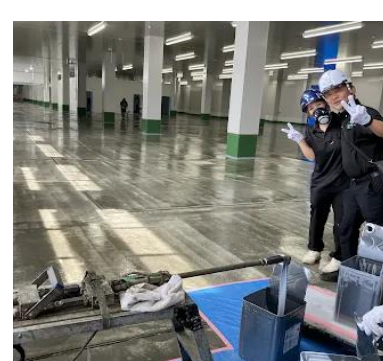


屋上1,200㎡



埼玉県飯能市にある聖望学園は過去5回甲子園出場校であり、阪神タイガースで活躍した鳥谷選手は同高OBとなっています。1,200㎡の屋上からは体育の授業なのか？生徒たちが野球をやっている姿が見えました。梅雨の晴れ間のスケジュール調整を終え無事UN施工を終えました。

2層目やまみ富士山麓工場新築工事



新築のやまみ富士山麓工場は階段部分を養生しホースを這わして2階部分の床をサラサーヌEZで施工

静岡県駿東郡のやまみ富士山麓工場。静岡県現場の天気予報を注意深く調整し1層目5/11施工。2層目は6月24日ホースは養生した階段を這わして2階室内をUN施工。新築関係と中東問題で2層目施工まで1ヶ月以上間がありました。2層目スタートすると先端吐出を止める事は少なく、どんどん施工は進み2,000㎡を4時間ほどで仕上げる事が出来ました

第二倉庫UNスペース床材ラスト施工



下地つくり、クラック部Uカット



床材塗布



新商品帯電防止の床材の試験施工中



第二倉庫入口右側すべてに床材塗布完成＼(^o^)／

新木場の第二倉庫約半分はUNマシンの車両メンテナンススペースです。この度3回目の床材の試験施工があり。これでUNメンテナンススペース全域が床材塗布となりました。メンテ時の油汚れも直ぐにウエスで拭けば綺麗な床面が保持されます。年に数回はこの度施工した場所で各メーカー実技講習会も行ないますが、汚れを心配する必要がなくなりました。年々、環境整備は整っていきます。年々、UN実績を積み上げ更なる環境整備へと取り組んでいきたいと考えています。

三枝木台団地、全棟施工終了



最終日は猛暑



横浜港南区の三枝木台団地
1～11号棟、都合4,000㎡を
6月6回、7月8回UNマシンにて施工し
無事に、全棟の施工を完了。
当初は、中東問題での材料手配が
一番の心配事でしたが、後半は
天気予報のスケジュール調整との
戦いとなりました。一度施工中の午後に
雨となり中断した日もありましたが
それ以外は晴天に恵まれ(後半は猛暑)
棟数を重ねるごとに段取りも早くなり
スピードUPで進め終える事が出来ました。

UNマシン.COMサイトが立ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

UNマシン にて検索

【sweat of silver】

母の米寿の祝品にと、やっと母の絵を描きました(81号参照)、そして本番の法事兼米寿祝いに総勢20名を超える一族に囲まれながらプレゼントを渡し、「おばあちゃん似てる～」と孫たちから声が上がリ、母も驚き、喜んでいました。母が真ん中で、その絵と親父の遺影とで写真も撮りました。翌朝、母が私に話があると近寄ってきました。「なんか絵よく見ると、年いき過ぎてる、私こんな年よりくさくない」とアルバムを出してきて「もっと～柔和な顔で～、明るい服」フンフン楽しそうに言いながらアルバムをめくり、「この顔がいいわ明るいし、これにして」とリクエストをしてきました、私は心の中で「アンタ88歳になるんやで、もう充分ババアやで」と思いながら笑いをこらえました。「服も暗いし、顔もちっと暗いわ、これやったらおとうちゃんより年いってるやん」とわけのわからない事を言います、オヤジは22年前に死んで75歳の遺影です・・・。「やっぱりこっちの写真がいいかな、どう思う」と、今度は私の妻に意見を求めてきます。妻は妻で「お母さん、こっちの方がなんかかわいらしいですよ」と合いの手を入れてきます。「じゃこのふたつ写真撮って息子に送ってって頼んだで」オンナどもの会話が終了しました。ワタシは反省しました、女はたとえババアであっても、何時まで経っても美しくありたいものと思うオンナ心を、わかっていなかったんだと・・・顔におもいきり、おしろい塗って真っ赤な頬紅いれてコウメ太夫みたいにすればよかったチクショ～。

その話を聞きつけた兄嫁が「おばあちゃん！、あんな立派なもん描いてもらって感謝しないと、忙しい中わざわざ描いてくれてんで」と注意してくれますが、「あれやったら年いってるから飾るのいややわ」と抵抗する母。こりゃ～100歳まで元気で生きるなと確信した私は「わかったちょっと時間くれ」と又、宿題が発生しました。現在「いいの出来たか？」の電話がこれから頻繁に掛かってくるのではないかと夫婦でビビっています。(´Д`)トホホ